

本メールマガジンを行っております<emagazine@opack.jp>は、配信専用アドレスです。

付きのイベントは、OPACKホームページ<<https://www.opack.jp/>>内の
「九大学研都市トピックス」に各イベントのサムネイルを掲載しておりますので、
そちらからもご覧いただけます。

○九大学研都市に関する団体・機関からお知らせ○

【1】2026年2月19日(木) 14:50-16:20開催
九州大学人社系協働研究・教育コモンズ オムニバスセッション
知の形成史 #18
博士人材のキャリアパス 安定性と流動性を両立させるには？

【2】2026年2月27日(金) 16:30-18:00開催 16:00受付開始
農林水産物の輸出促進研究開発プラットフォーム@九州・沖縄
第5回公開シンポジウムの開催について

【3】2026年3月6日(金) 13:00-16:30開催
[シンポジウム開催]
デジタル社会における働き方: ワーク・エンゲイジメント

【4】2026年4月21日(火) 9:00-17:00開催
半導体の第一歩、一緒に学びませんか？

+++++

【参加者募集!!】九州大学人社系協働研究・教育コモンズ オムニバスセッション
1 知の形成史 #18
博士人材のキャリアパス 安定性と流動性を両立させるには？

概要

本シリーズでは、毎回人社系の先生をお呼びして、具体的な研究のお話をうかがいながら、
いま一度それぞれの領域の「出来（いでき）はじめ」を紐解きつつ、現在の学問が時代や
社会に何を要求されているのか、そして何ができるのかを考えます。人社系の知の意味と
意義を問い合わせることを通じて、協働研究の「コモンズ」醸成を目指します。
第18回目は経済学研究院から、安田聰子先生をお呼びして、博士人材のキャリアパス
についてお伺いしていきます。

日時 2026年2月19日(木) 14:50-16:20

場所 九州大学理系図書館 1階 ラーニングコモンズ
及びオンライン会議形式 (Zoom)

内容 博士人材のキャリアパス 安定性と流動性を両立させるには？
https://commons.kyushu-u.ac.jp/collaborative/events/event_39.html

本研究は、博士課程進学者が減少している要因とその解決策を探るものである。
博士人材の需要側・供給側の両方で調査を実施し、研究開発人材の採用において日本企業
は20世紀型制度への経路依存を起こしていること、博士人材の身分の不安定性はアカデミア

での研究活動や若者の進学意欲に深刻な影響を与えていたこと等を指摘した。これらを踏まえ、「安定性と流動性を両立させる仕組み」として「越境研究員制度」を政策オプションとして提示した。これは、研究者の身分の安定を確保しつつ柔軟な配置・異動を可能にするものである。アカデミア、企業関係者から一定の支持を得ながらも、政策として実装するためには多くの課題も残されている。

[話し手] 安田聰子 (九州大学経済学研究院教授)
/ 科学技術イノベーション政策教育研究センター (CSTIPS) ・センター長)
[聞き手] 吉岡瑞樹 (九州大学基幹教育院教授)
[司会] 木下寛子 (九州大学人間環境学研究院准教授)

対象者

どなたでもご参加いただけます

定員

なし 対面の定員は50名

參加費

無料

申込期限

2026年2月17日(火)

申込方法

事前申し込み

下記URLへアクセスのうえ、事前参加申込をお願いします。

https://commons.kyushu-u.ac.jp/collaborative/events/event_39.html

問い合わせ

九州大学人社系協働研究・教育コモンズ

<https://commons.kyushu-u.ac.jp/>

E-mail : enquiry-commons@cmns.kyushu-u.ac.jp

・博士人材のキャリアパス : https://www.opack.jp/files/MagazineDetail_34794_file.pdf

概要

本プラットフォームでは、農林水産物・食品の輸出と产学連携をテーマとした公開シンポジウムを開催いたします。本シンポジウムでは、大学の研究とビジネスの実践を結びつける新たな枠組みについて考える場として、「知」と「現場」をつなぐ10年の歩みを振り返るとともに、日本の農産物輸出の未来を展望し、新たな連携の可能性について具体的な事例とともに考察いたします。

日本の農産物輸出の未来と共に考え、新たな連携の可能性を探る場となる本シンポジウムに、是非ご参加ください！

時 目

2月27日（金）16:30～18:00 16:00受付開始

場所

西鉄グランドホテル プレジールB

(福岡市中央区大名2丁目6-60)

ウェビナー配信あり

内容

【プラットフォームの活動報告】

「10年の軌跡：構造設計から関係性のデザインへ」

コーディネートユニット

九州大学大学院 農学研究院 助教

房 賢貞

【基調講演】

「農産物輸出研究の現在地と今後の展望」

鹿児島大学 農学部 農学科 教授

豊智行 氏

【パネルディスカッション】

「2030年に向けた産学連携と輸出現場のリアル」

(モデレーター)

総括プロデューサー

中村学園大学 栄養科学部 フード・マネジメント学科 教授

九州大学 名誉教授

福田 晋

(パネリスト)

弓場貿易株式会社 代表取締役

弓場 秋信 氏

鹿児島大学 農学部 農学科 教授

豊智行 氏

(コーディネートユニット)

琉球大学 研究共創機構 研究推進室 副室長

殿岡 裕樹

定員

会場40名 事前のお申込が必要です

参加費

無料

申込期限

2月26日（木）

申込方法

九州大学学術研究都市推進機構（OPACK）ホームページからお申し込みください

<https://www.opack.jp/events/detail/768>

問い合わせ

農林水産物の輸出促進研究開発プラットフォーム@九州・沖縄 運営事務局

（公財）九州大学学術研究都市推進機構

担当：藤井 TEL 092-805-3677

E-mail info-qpf.2nd@agr.kyushu-u.ac.jp

・農林水産物の輸出促進研究開発プラットフォーム：https://www.opack.jp//files/MagazineDetail_34795_file.pdf

+++++

3 【参加者募集!!】[シンポジウム開催]

デジタル社会における働き方: ワーク・エンゲイジメント

概要

ポスト・パンデミックの時代に入り、リモートワーク、ハイブリッド勤務、副業・兼業の拡大など、私たちの「働き方」はかつてないほど多様化・流動化しています。加えて、

生成AIやデータ駆動型の意思決定が広がるなかで、労働の価値や職業アイデンティティを問い合わせ直す機運が高まっています。
こうした時代背景において、単なる労働時間や成果主義に基づく評価軸だけでなく、「仕事に没頭し、活力や誇りを感じられる状態」=ワーク・エンゲイジメント（Work Engagement）が、個人・組織双方の持続可能な成長の鍵として注目されています。

ワーク・エンゲイジメントの概念は、メンタルヘルス対策の枠組みにとどまらず、組織の心理的安全性、チームダイナミクス、生産性、創造性との関連も多く実践や研究でも活用されています。また近年では、「主観的な働きがい」と「客観的な契約・制度設計」との間のズレに着目した研究や、「AIやICTを活用したワーク・エンゲイジメント測定・介入」の試みも始まっており、分野横断的な議論が急務となっています。

本シンポジウムでは、法学・心理学・情報学などの専門知を融合しながら、DX時代の「人間らしい働き方」のあり方を議論し、制度設計・組織開発・技術活用が交差する場面で、どのようにして働く人々の内発的動機や幸福感を支えられるのかを、多角的に探求します。
皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時
2026年3月6日 金曜日
13時00分～16時30分

場所
九州大学 西新プラザ(福岡市早良区西新2-16-23)
(ハイブリッド開催)

内容
【プログラム】
司会：山田政寛（九州大学 データ駆動イノベーション推進本部 教授）

13:00 開会挨拶
内田誠一（九州大学理事・副学長 / データ駆動イノベーション推進本部 副本部長）

13:05 基調講演1
島津明人（慶應義塾大学 総合政策学部 教授）
「ワーク・エンゲイジメント：健康増進と生産性向上の両立に向けて」

13:45 基調講演2
永田智久（産業医科大学産業生態科学研究所 准教授）
「健康経営とその効果：組織風土の醸成を目指して」

14:25 パネル講演（1人15分）
青島未佳（一般社団法人 チーム力開発研究所 理事）
新屋敷恵美子（九州大学 法学研究院 准教授）
武末玲央名（九州大学 人事企画課 人材育成係 係長）
荒川豊（九州大学 大学院システム情報科学研究院 教授）

15:25 休憩

15:35 パネルディスカッション
モデレーター：武末玲央名
島津明人
永田智久
青島未佳
新屋敷恵美子
荒川豊
16:20 閉会挨拶
中村祐一（九州大学 データ駆動イノベーション推進本部 ディレクター / 客員教授）

対象者
企業・自治体等関係者、医療関係者、法曹関係、情報関係、研究者、

その他本テーマにご关心お持ちの方々

定員
対面 200名
オンライン490名

參加費
無料

申込期限
2026年3月5日（オンラインは3月6日13時）

申込方法
<https://forms.office.com/r/e4dTUvWJ78>

問い合わせ
九州大学 データ駆動イノベーション推進本部 教授 山田政寛
Yamada.masanori.761@m.kyushu-u.ac.jp

- ・デジタル社会における働き方 : https://www.opack.jp//files/MagazineDetail_34796_file.pdf

4 【参加者募集!!】半導体の第一歩、一緒に学びませんか？

概要

半導体とはどんなものか、どんなしくみで動いているのか、どんな作り方をしているのか
半導体初心者の方にもわかるように半導体のはじめの一歩を教えます！

日時
2026年4月21日(火) 9:00-17:00

場所

対面形式の会場：福岡市早良区百道浜3-8-33
福岡システムLSI総合開発センター2階会議室
オンライン会場：Zoom Webinars
(接続先はお支払い完了後ご案内)

內容

半導体超入門講座：	
よくわかる半導体超入門 九州大学 教授 井上 弘士 氏	~ 半導体ってどんなもの ~
よくわかる半導体超入門 三菱電機(株) 山田 順治 氏	~ 半導体のしくみ ~
よくわかる半導体超入門 三菱電機(株) 山田 順治 氏	~ 半導体の作り方 ~
詳細は「 https://reskilling.ist.or.jp/seminarall/info-238.html 」をご覧ください。	

定員
対面 60名
オンライン 450名

参加費
税込4,400円
(対面、オンライン同価格)

申込期限
2026年4月16日（木）17:00

申込方法

「<https://e-learning.ist-college.org/contents/category/seminar-live>」より
「半導体超入門講座」の対面またはオンラインを選択してお申込みください。

問い合わせ

公財)福岡県産業・科学技術振興財団(ふくおかIST)

福岡半導体リスクリングセンター事務局

〒814-0001

福岡市早良区百道浜3丁目8-33

TEL: (092)822-1550

FAX: (092)832-7158

E-mail : reskilling_contact@ist.or.jp

- ・半導体超入門講座 : https://www.opack.jp//files/MagazineDetail_34797_file.pdf

-----事務局からのお願い&お知らせ-----

九大学研都市メールマガジン会員募集中

公益財団法人九州大学学術研究都市推進機構(OPACK)では、メールマガジン会員を随時募集しております。ダイナミックに変貌を遂げつつある九大学研都市エリアの最新情報をメールマガジンにて毎月お届けしています。

産学連携、研究施設、企業立地など、九大学研都市に関する情報に关心のある方に是非お知らせください。

詳細

http://www.opack.jp/files/TopicDetail_45_file.pdf

新規のご登録はこちらから

<https://www.opack.jp/users/add>

設定変更等

本メールマガジンはメールマガ会員にご登録いただいた方や、OPACKの各セミナー等にご参加いただいた方あてに配信させていただいております。

メールマガ会員登録内容変更、登録解除、パスワード忘れ、などは下記URLをご参照ください。

<https://www.opack.jp/users/delete>

または、下記へお問い合わせください。

info@opack.jp
